

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

群放技 会報

今後予定される医療法施行規則の改正について

群馬県診療放射線技師会 学術研修部長兼教育部長
日本診療放射線技師会 医療被ばく安全管理委員会 五十嵐博

現在までの医療法施行規則では、管理者が確保すべき安全管理の体制として、「院内感染対策」、「医薬品に係る安全管理」、「医療機器に係る安全管理」、「高難度新規医療技術等」の4つの項目がありますが、平成32年4月施行の医療法施行規則では、新たに「医療放射線に係る安全管理」が加わり、CT、血管造影用X線装置、SPECT-CT、PET-CTを対象として、医療被ばくの線量管理、線量記録が義務化される予定です。さらに、それ以外の放射線診療機器（一般撮影や消化管検査等を含む）についても、必要に応じて、医療被ばくの線量管理及び線量被ばくを行うこととされています。

会員の皆様におかれましては、今後の変化に対応できるように準備をお願いいたします。

なお、現在までに検討されている情報等は以下のページで確認できます。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei_436723.html

JARTが行っている事業で「医療被ばく低減施設認定」があり、この認定取得または認定に向けた準備を進めておくと改正後にもスムーズに移行できると考えます。

第34回日本診療放射線技師学術大会・ 第6回アジア放射線治療シンポジウムに参加して

国立療養所 栗生楽泉園 川上 裕

平成30年9月21日（金）から23日（日）の3日間にかけて、山口県下関市の海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザにおいて第34回日本診療放射線技師学術大会・第6回アジア放射線治療シンポジウムに参加してきました。

今回の学会では491演題が登録され、その他にも、特別講演や教育講演、シンポジウム等々たくさんの講演、セミナーが企画され、また、今年はスイーツ

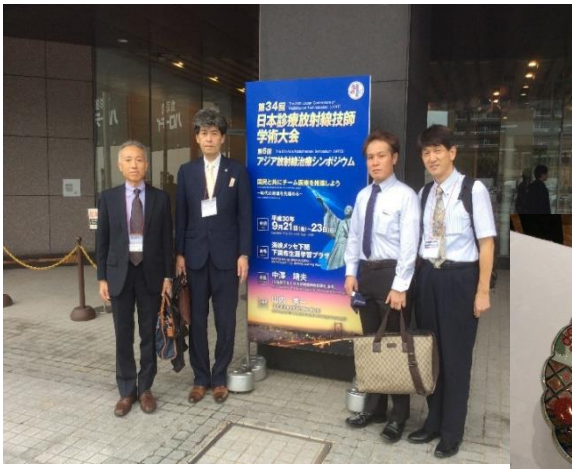
セミナーも新しく企画され興味を引かれましたが、残念ながら聞くことができませんでした。群馬県からは遠方と言う事もあったためでしょうか一般演題は4演題でしたが、学生セッションでは12演題全てが群馬県立県民健康科学大学生の発表でした。

また、本県理事の五十嵐博氏は3日間で3つのシンポジウム、分科会の座長を務められました。大変お疲れ様でした。中でも「医療被ばく低減施設認定の取得促進について」のシンポジウム後のQ&Aコーナーではたくさんの施設から質問者が来られたとの事、会員の関心度が高いことが伺えます。本県の取得施設は1施設のみですので多くの施設の方々に習得を目指していただきたいと思います。まずどこから始めたら良いのか分からない等、気軽に管理士部に相談してみてください。

さて、下関と言えば“ふぐ”下関では“ふく”が有名です。当然情報交換会でもふく刺しやたくさんのおいしい料理、各県技師会から届いた地酒が並びとても賑やかに、また久しぶりに会った同級生と話が弾みました。

そして、学会へ行く目的は学術だけが目的でなく、その土地の美味しい物を食べ、観光もできます。私は、後閑会長、嶋田副会長、目崎組織部長とともに前日より現地入りし、“ふく刺し”、“鯨の刺身”、“瀬祭”、“瓦そば”、“関門海峡”、“巖流島”、“角島”等々グルメと観光を楽しみ、また、学会企画のモーニングラン(会場から関門トンネルを渡り会場までを楽しくランニングする)にも五十嵐教育部長とともに参加し、とても充実した4日間でした。

来年度の学術大会は埼玉県さいたま市大宮ソニックシティで開催されます。遠方への参加が難しい方でも、隣県ですので参加もしやすくなります。皆さんで参加いたしませんか。



平成30年度 群馬県がん検診エックス線撮影従事者講習会
(9月:第1回, 10月:第2回は既に終了しました)

第3回 11月13日(火) 19:00~21:00

演題名:『胸部XPの読影入門・Part 3』

講師:医療法人社団 高仁会 城西クリニック

名誉院長 松本 満臣 先生

主催:一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

後援:群馬県 健康福祉部 保健予防課

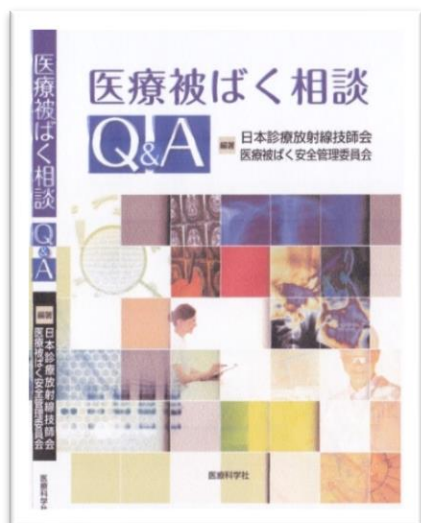
群馬県立県民健康科学大学 地域連携センター

開催会場:群馬県立県民健康科学大学 西棟1階 多目的ホール

参加費(各回): 会員 無料 / 非会員 1,000円

なお、会員とは群馬県診療放射線技師会員です。他県技師会や日本診療放射線技師会員は非会員扱いとなります。また、当日、会員名簿等で会員の確認ができない場合も非会員扱いとなることがあります。ご注意ください。

「医療被ばく相談Q&A」



患者さんから実際に寄せられた質問に即した Questionと診療放射線技師が答えたAnswerに、Tipsと参考文献を付して見開き2頁にまとめ、さらに、医療被ばく相談について知っておきたい事項をコラムで紹介したテキストです。

放射線検査を怖いと感じている患者さんには不必要な心配を取り除いてもらえるよう、また放射線検査に関する質問を受けた医療関係者には患者さんが安心して放射線検査を受けていただけるよう、検査室に常備しておきたい1冊です。

なお、群馬県診療放射線技師会からも、五十嵐学術研修部長兼教育部長、青木理事が執筆されております。

【構成】第1章 一般撮影 第2章 透視検査 第3章 X線CT検査 第4章 血管造影・IVR 第5章 マンモグラフィ 第6章 歯科領域 第7章 核医学検査 第8章 放射線管理 第9章 被ばく相談 第10章 用語解説

編著:日本診療放射線技師会医療被ばく安全管理委員会

本体価格 2,300円(税別)2018年10月11日発行 ISBN978-4-86003-103-9

【重要】業務拡大に伴う統一講習会についてのお知らせ

診療放射線技師法が2014年6月18日に一部が改正され2015年4月15日に施行されました。具体的には、①CT、MRI 検査等での自動注入器による造影剤の注入、②造影剤注入後の抜針・止血、③下部消化管検査の実施(ネラトンチューブ挿入も含めて)、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのチューブ挿入であり、診療放射線技師の業務内容の拡大です。以上の業務を行うための条件として、医療の安全を担保することが国より求められています。日本診療放射線技師会では新たに放射線業務に含まれる業務の知識、技能、態度を安全かつ正確に習得するために、この講習会を実施しております。

H32年でこの講習会は終了となります。今後の群馬県での開催日程は下記のとおりとなります。多くの診療放射線技師の方が受講し医療の安全を身につけていただきますようお願いいたします。なお、本講習会は厚生労働省の後援を頂き、修了者番号籍を管理しております。

開催日程・会場

- ① 平成30年12月2日(日)、9日(日)
場 所:群馬県立県民健康科学大学西棟多目的ホール 他
- ② 平成31年2月16日(土)～17日(日)
場 所:群馬県立県民健康科学大学西棟多目的ホール 他
- ③ 平成31年7月6日(土)～7日(日)
場 所:群馬県立県民健康科学大学西棟多目的ホール 他
- ④ 平成31年12月1日(日)、8日(日)
場 所:群馬県立県民健康科学大学西棟多目的ホール 他

受講料 : 会 員15,000円 非会員60,000円
静脈注射講習会修了者 会 員 13,000円 非会員 50,000円
注腸X線検査修了者 会 員 5,000円 非会員 35,000円
静脈注射・注腸X線検査修了者 会 員 3,000円 非会員 15,000円

申込方法: JART情報システムよりログインし、イベント参加申し込みより検索しお申し込みください。URL : https://jart.nexs-crm.nexs-service.jp/jart_portal/kyotsu/top.html

※ 渉外広報部、ホームページ等のお知らせは、下記のメールアドレスにてお願いします。

問い合わせメールアドレス webstaff@gunmart.jp

群馬県診療放射線技師会 ホームページアドレス <http://www.gunmart.jp/>

ホームページ担当 : 群馬パース大学 谷口 杏奈

編集責任者 : 群馬大学医学部附属病院 嶋田 博孝

発行責任者 : 群馬県診療放射線技師会会長 後閑 隆之

事務局 : 〒371-0022

前橋市千代田町1丁目7-4(群馬メディカルセンター内)